

通常砂防事業事前評価調書

路線・河川等名	みだじろがわ 弥陀次郎川	事業名	通常砂防事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	うじしこぼた 宇治市木幡		
事業概要	目的	弥陀次郎川は平成24年8月の京都府南部豪雨により多量の土砂や流木が流出し、現在も溪流には多くの不安定土砂や流木が堆積している。今後の大雨による土砂災害発生の高危険性が高い溪流である。被害想定区域内には人家37戸、市道、宇治市上水道広岡ポンプ場が存在しているため、砂防えん堤、溪流保全工を整備し、土砂災害から地域の安全を確保する。			
	内容	砂防えん堤工 1基 溪流保全工 230m 全体事業費 2.5億円			
	上位計画等	明日の京都〔府民安心の再構築(暮らしの安心)〕 社会資本総合整備計画(水の安全・安心基盤整備)			
	スケジュール	着手年度 平成26年度 完成目標年度 平成28年度			
事業の社会経済情勢及び地元情勢等	<p>○当該箇所の谷出口付近には住宅地が広がっており、被害想定区域内には、人家、宇治市上水道広岡ポンプ場が存在し、土石流が発生した場合、地域住民に与える影響は大きい。</p> <p>○被害想定区域内に存する市道は、宇治市東部地域の幹線道路となっており、重要な公共施設である。</p>				
事業の効果及び費用対便益等	○人命、市道が土石流から保全される事業であり、投資効果は大きい。 (B/C=8.2)				
事業のコスト削減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	<p>○砂防えん堤を効率的に配置し、施設の規模を抑制することで、地形の改変を避け、自然環境への負荷低減に努める。</p> <p>○現地発生土を他工事に積極的に流用調整することで他工事を含めた総事業費のコスト削減を図る。</p>				
総合評価	本事業は、人命の保全及び地域防災力向上の観点から、新規事業着手の必要がある。				

みだじろがわ

京都府 淀川水系 弥陀次郎川 通常砂防事業

きょうとふ うじし こばた
京都府 宇治市 木幡

○事業目的

弥陀次郎川は京都府宇治市に位置し、保全対象として人家37戸および市道を含む溪流である。平成24年8月の京都府南部豪雨により多量の土砂や流木が流出し、現在も溪流には多くの不安定土砂や流木が堆積している。今後の大雨により土砂災害の発生が懸念されるため、早急に対策を行う必要がある。

○箇所概要

事業年度 : H26~H28
 全体事業費 : 250百万円 (B/C=8.2) H26事業費 : 75百万円
 保全対象 : 人家37戸、市道129m、宇治市上水道広岡谷ポンプ場
 実施内容 : 砂防えん堤1基、溪流保全工230m H26実施内容 : 砂防えん堤、用地補償、管理用道路

